



発信 No.2021-50

2021年12月9日

学校法人 大正大学

地域創生のための総合情報誌『地域人』第76号

特集 日本の聖地 信仰と観光

祈りの場所、「聖地」と観光の在り方を考える！ 12月10日発売

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）は、地域創生のための総合情報誌『地域人』第76号を12月10日に発売します。今月の特集は「日本の聖地 信仰と観光」。

古来、自然は信仰の場、「聖地」となり、今では地域にとって大切な観光資源となっています。「行」や「儀礼」、山岳信仰やアマビエといった切り口で、比叡山延暦寺や出羽三山、富士山などの聖地とこれからの観光の在り方を考えます。巻頭インタビューは、戦後初、十二年籠山行を満行した堀澤祖門さん（泰門庵住職、前・三千院門跡門主）の混迷する時代へのメッセージも掲載しています。



『地域人』第76号表紙。

巻頭インタビュー 堀澤祖門 泰門庵住職、前・三千院門跡門主

「悟りとは意識を変換すること。人間は誰しも『泥を被った仏』なんだ」

特集 日本の聖地 信仰と観光

聖地 一にぎわいの深奥に在るもの

藤田庄市 フォトジャーナリスト

比叡山延暦寺 十二年籠山行、東大寺二月堂 修二会、羽黒修験 秋峰、伊勢神宮 日別朝夕大御饌祭

インタビュー 観光資源としての聖地 鈴木正崇 慶應義塾大学名誉教授

なぜアマビエの聖地は存在しないのか 一疫病と令和の御代の流行神（はやりがみ）

岡本亮輔 北海道大学大学院准教授

変容を続ける富士山信仰「富士講今昔物語」

古田尚也 大正大学社会共生学部・地域構想研究所教授



絵葉書に見る聖地と観光 一菱田コレクションより一

PART1 聖地と周辺の観光地化 一宗吾靈堂とエリアの形成

島立理子 千葉県立中央博物館企画調整課長

PART2 時代と共に変わりゆく屋久島の聖地

柴崎茂光 東京大学農学部林政学研究室准教授

COLLECTION 千葉県立中央博物館所蔵の菱田コレクションなど 島立理子

■特集内容



聖地の行と儀礼は超自然的リアリティーを感じさせる（出羽修験 秋峰）



時代とともに変容を続けてきた富士山信仰をレポートする

『地域人（chiikjin）』

2015年9月に創刊。地域で活躍する人々の前向きで積極的な“生”的情報を新鮮なまま毎月お届けし、ビジネスや生活に役立つことはもちろん、地域創生のテキストとしても活用されています。発刊：月刊（毎月10日発売予定）／定価：本体1100円（税込）／発行・発売：大正大学出版会／編集：大正大学地域構想研究所／制作：大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ／編集・発行人：柏木正博（大正大学専務理事）／編集長：渡邊直樹（大正大学客員教授）／部数：1万5000部／判型：A4変型／平綴じ／ページ数：本文104ページ／大型書店、ウェブ書店で発売中。電子版も発売中。『地域人』YouTubeチャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCKRcv_bLrXHjZDhabpwb1Kw/videos



◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学の推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度
文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 総合政策・広報課 志村

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3068 E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp